

日本家系図学会 平成 21 年度総会報告

開催日時:平成 21 年 11 月 7 日(土)午後3時～5時

開催場所:末日聖徒イエス・キリスト教会別館礼拝堂

東京都港区南麻布5-8-8

以下のように、報告します。

1.開会宣言 岸副会長兼事務局長

※委任状提出者も含めて約 90 名の総会参加があり、総会成立。
北は岩手県、南は徳島県からの出席者があった。

2.宝賀会長挨拶

3.総会議事 (1)会則の確認 →了承。

(2)役員選任

会誌第1号(87頁)掲載の役員名簿の役員について、2年の任期期間で了承。ただし、次年度以降は新規増員の可能性はあることも説明される。

(3)最近までの当会の動向ご報告、事業計画及び経理関係の審議

最近までの動向報告、関係する他会との協力関係、インターネット利用、会誌発行(近々、会誌第2号発行予定)などが説明された。

経理面では、旧会からの残余金引継ぎ、平成21、22年度の予算・決算見込みの計数の説明があった。

→事業計画及び経理関係について、了承。経理基盤がまだ弱いため、会員増強や会誌販売・広告収入などの財源確保が必要とされた。

※以上で、予定された議決事案はすべて了承され、円滑に終了した。

4.講演 講師:本郷和人 東京大学史料編纂所准教授(本会副会長)

テーマ:「血と家」

源頼朝を巡る葛西清重とのエピソードや落胤伝承、平清盛の出生にまつわる話、「御恩と奉公」による主従制、鎌倉・江戸幕府の將軍家の跡継ぎ問題、幕末期の美濃高須藩の公子たちの処遇、吉田定房の奏上など、家の存続と血・地の重要性などが興味深く語られた。

5.懇談・質疑応答

6.閉会挨拶 安原副会長

7.総会終了後、場所を変えて懇親会が行われ、7時過ぎまで歓談がなされた。

場所:広尾プラザ1階 テラス・モルチェ

(以上文責:事務局・研究編集部)